

ブックレット刊行助成の募集見合わせについて

平素より本学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学会では、若手研究者の研究成果発表を支援する目的で「読み切りブックレット ドイツの文化」を設け、これまでに3巻を刊行してまいりました。いずれの刊行物も、若手研究者の成果を広く紹介し、学界の発展に資するものとして高い評価を得ております。

しかしながら、近年の財政状況を踏まえ、同制度を現行の形で継続することが困難となっております。編集・刊行に要する経費が学会の予算を圧迫しており、現状では十分な支援を行えない見通しです。

支部委員会において慎重に協議を重ねた結果、制度の意義を尊重しつつも、**令和7年12月末締切の募集を最後に、当面のあいだ募集を見合わせる**ことといたしました。再開については、今後の財政状況を見極めながら、改めて検討いたします。

これまで本制度をご活用くださった皆様、また応募をご検討くださっていた方々には、ご不便をおかけすることを心よりお詫び申し上げます。

本学会としては、若手研究者の支援という趣旨を引き続き重視し、今後も持続可能な形での支援策を模索してまいります。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和7年11月15日
日本独文学会京都支部
支部長 細見和之